

令和元年度 第1回逗子市福祉プラン懇話会 概要

日時 2019年（令和元年）7月2日（火）

午前10時から正午まで

場所 市庁舎5階 第4会議室

1. 開会

2. 議題

(1) 各個別計画における進捗状況等について

(2) その他

(1) 各個別計画における進捗状況等について

各個別計画の推進・改善に向けた意見・提案

《地域福祉計画・地域福祉活動計画》

・どの事業も誰もが暮らしやすい地域づくりにつながっているが、行政、社協等の役割はもちろん、市民にも身近な課題を発見する目や自ら課題解決の担い手となっていくことが期待されている。そのためには、計画事業の内容や目指すもの、現状等を、市民によりわかりやすく伝えていく工夫が必要である。

・「我が事・丸ごと」「地域共生社会」ということを軸に、行政、社協、関連機関が横につながりそれぞれの役割を発揮していくことが大切である。

《健康増進計画》

・数字だけでの評価は馴染まない事業もある中で、様々な工夫しているという点は評価できる。

・これからも講座参加者の声（アンケート結果など）を大切に、さらなる充実に期待したい。

《高齢者保健福祉計画》

・目標を達成した結果、次の目標につなげることができると良い。

・地域共生社会の実現に向けて、地域包括支援センターの意味は大きくなっている。拠点があることの意味、専門職がいることの意味を考え、体制を整えていくことに期待したい。

《障がい者福祉計画》

・「ふれあいフェスinずし」などイベント、研修会、講演会については、工夫を交えながらさらなる充実と周知を期待したい。

・障がい者が安心して自分らしく暮らし続けられるまちを実現するためにも、精神障がい者のグループホーム等の施設整備にかかる周知に、積極的に取り組まれない。

《子ども・子育て支援事業計画》

・実績数値の増減に対して、質の変化、内容はどうか、増減の原因は何か、少数意見をできるだけ取り込んで検証してほしい。

各個別計画の評価状況についての意見

・数値目標を達成していないが様々な工夫や努力により推進している施策や、数値目標が馴染みにくい施策もある。いずれの施策についても市民がどのように受け止めているかを意識していただきたい。取り組みに対する市民や参加者の声から成果や効果をはかる手法の工夫・検討が必要である。

・数値目標の達成はとても大切なことではあるが、後期においてはそれだけで終わらずに、次の施策へつなげるための評価を行うという考え方へシフトし進めていただきたい。

全体を通じての意見

- ・大変よく取り組まれている。
- ・達成できなかったことに着目し、これから取り組む課題を明らかにすることが大切である。また、課題については、根気よく行政や関係機関等と協力して取り組まれない。
- ・計画について市民が理解し、役割を認識することが大切である。そのためには、今後も周知・啓発努力と推進を図ることを期待したい。
- ・数値の達成で終わらず、本来の施策目標から目をそらさずに、前向きに取り組まれない。

次期計画に向けた意見

・評価について、数字だけでなく、質・中身が見えると良い。例えば、数字の増減については、どのような理由があるのかを具体的に示されると、懇話会で意見を出しやすく、情報の共有もできる。さらに、その意見を次期計画に反映させることができると良い。

・計画を進行する段階では、新たなニーズの発生や状況変化に伴う方向性の転換を迫られることは多くある。そこから見えたことに対して、懇話会の意見をもとに新たな目標を設定していくことなども進行管理をするにあたって大切である。

・懇話会は、「評価」が最大の課題としつつ、行政の評価と市民目線の評価をつなぐ場であると考えている。市民目線の評価については、事業への市民の参加や協働関係の認識の広がりなどという視点とともに、達成されていないことに着目することが大切である。

基幹計画進行管理表について

・それぞれ5つの計画の評価は、すべてB評価であり、福祉プランとしての評価は◎○△×のうち○となった。

(2) その他

- ・元気な高齢者を増やそうプロジェクトについて
- ・次回懇話会は2020年3月に開催予定

3. 閉会

以 上